



Dynamic & Dramatic



2024年 2 月期 決算補足説明資料

株式会社DDグループ
2024年 4 月12日



証券コード:3073

● 経営理念	お客様歓喜
● グループ経営指針	圧倒的な「カッコよさ」という価値観で すべてのステークホルダーに対して「熱狂的な歓喜」を呼び起こす！ 「OPEN~ひらく~」「Community~つなぐ~」「Revolution~みがく~」「Innovation~のびる~」
● グループビジョン	創造的であり革新的であるブランドを創出する ~ブランドカンパニー~
● 行動指針	Dynamic & Dramatic ~大胆かつ劇的に行動する~
● 中期経営計画テーマ	原点超越



※CVC事業及び購買プラットフォーム事業はセグメント区分上「飲食・アミューズメント」事業に含んでおります。

1

通期業績において、各段階利益で過去最高益を更新

→営業利益3,243百万円、経常利益3,131百万円、親会社株主に帰属する当期純利益3,415百万円

2

連結中期経営計画における各KPIにつき当連結会計年度末で計画を超過

→現在の業績進捗を踏まえ、2024年4月19日に連結中期経営計画の補正を公表予定

3

新型コロナウイルス感染症の影響も弱まり、既存店対比が大幅に回復

→既存店コロナ前対比は、79.8%を当初計画していたが、90.0%で着地



2024年2月期 連結業績

第4四半期連結会計期間での各段階利益で過去最高益を更新

売上高
【通期累計】
370.7
億円
対前年同期比
115.0%

経常利益
【通期累計】
31.3
億円
対前期増減額
22.9億円



前年同期比で増収増益を達成し、修正通期計画を全て達成

【期間：2023年3月1日～2024年2月29日】

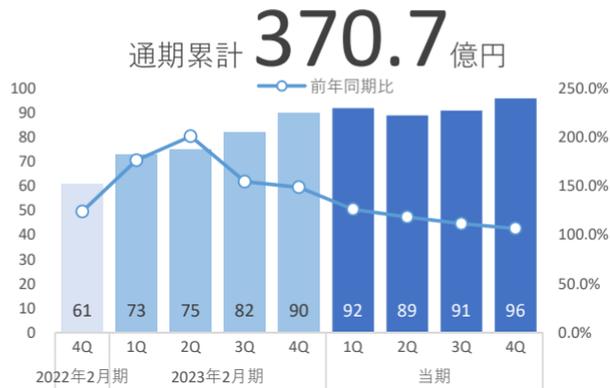
（単位：百万円）

	通期連結累計期間（実績）				通期連結累計期間（計画）	
	前期	当期			金額 2023年10月13日修正	達成率
	金額 (売上構成比)	金額 (売上構成比)	前期差	前期比		
売上高	32,235	37,079	+ 4,843	115.0%	36,400	101.9%
営業利益	467 1.5%	3,243 8.7%	+ 2,775	693.2%	2,950	109.9%
経常利益	838 2.6%	3,131 8.4%	+ 2,292	373.4%	2,780	112.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	875 2.7%	3,415 9.2%	+ 2,539	390.2%	2,350	145.3%
1株当たり 当期純利益	37.30 円	177.59 円	+ 140.29 円	476.1%	118.76 円	149.5%

売上高
【累計】

対前年同期比

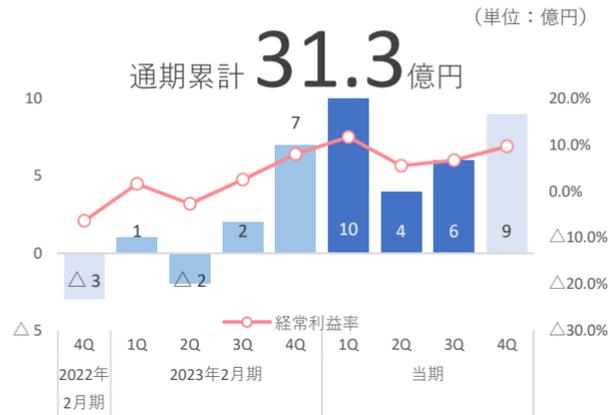
115.0
%



経常利益
【累計】

対前期増減額

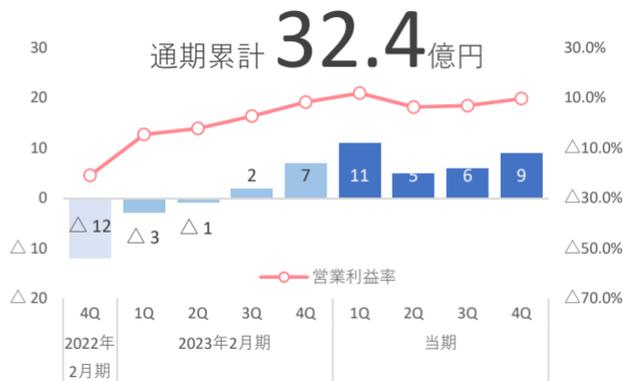
22.9
億円



営業利益
【累計】

対前期増減額

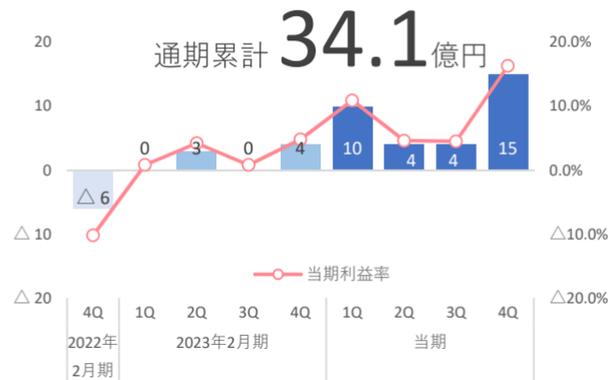
27.7
億円



親会社株主に
帰属する
四半期(当期)
純利益
【累計】

対前期増減額

25.3
億円



主要係数（四半期推移）

	累計		四半期会計期間				
	2024年2月期	2023年2月期	2023年2月期4Q	2024年2月期1Q	2024年2月期2Q	2024年2月期3Q	2024年2月期4Q
売上原価率	21.6%	21.8%	21.5%	19.8%	21.3%	23.0%	22.1%
販管費率	69.7%	76.7%	70.3%	68.3%	72.4%	70.0%	68.2%
営業利益率	8.7%	1.5%	8.3%	11.9%	6.3%	6.9%	9.6%
のれん償却控除前 営業利益率	9.2%	2.0%	8.8%	12.4%	6.8%	7.4%	10.1%
経常利益率	8.4%	2.6%	8.0%	11.7%	5.5%	6.7%	9.7%
EBITDA	40.8億円	13.7億円	9.7億円	13.0億円	7.7億円	8.4億円	11.5億円

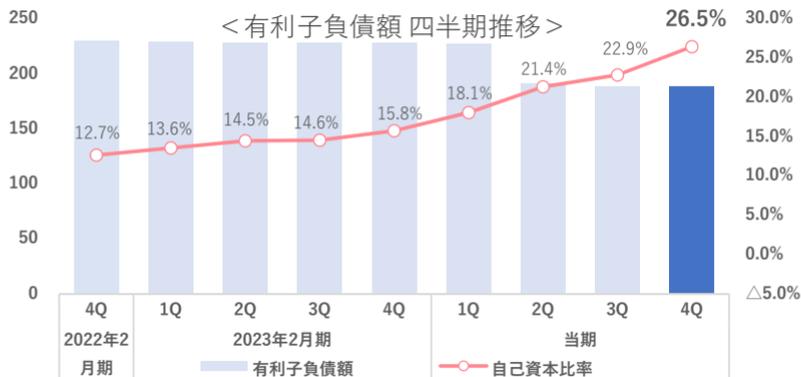
ネット
D/Eレシオ

当四半期累計

0.9 倍

(前会計年度末)

1.9 倍



(単位：億円)

自己資本

…前会計年度末から3,515百万円増加し9,079百万円
自己資本比率：26.5%
(前会計年度末：15.8%)

有利子負債額

…前会計年度末から3,887百万円減少し18,948百万円
有利子負債比率：55.2%
(前会計年度末：64.8%)

連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2023年2月期末	2024年2月期末	対前期増減額		2023年2月期末	2024年2月期末	対前期増減額
流動資産	15,047	13,499	△1,547	有利子負債	22,836	18,948	△3,887
現金及び預金	12,039	10,301	△1,737	その他負債	6,075	5,605	△469
その他流動資産	3,008	3,198	189	負債合計	28,911	24,554	△4,357
固定資産	20,201	20,793	606	株主資本	5,469	8,845	3,376
有形固定資産	9,970	9,475	△495	利益剰余金	△2,292	1,083	3,376
無形固定資産	2,816	2,632	△184	その他の包括利益累計額	94	234	139
のれん	2,761	2,581	△180	新株予約権	1	1	0
投資その他の資産	7,413	8,685	1,272	非支配株主持分	772	658	△114
繰延資産	-	-	-	純資産合計	6,336	9,738	3,401
資産合計	35,248	34,292	△955	負債・純資産合計	35,248	34,292	△955

【増減主要要因】

▶ 総資産残高：34,292百万円（対前期増減額△955百万円）

- ・現金及び預金：対前期増減額 △1,737百万円
- ・売掛金：対前期増減額 99百万円
- ・未収入金：対前期増減額 649百万円

【増減主要要因】

▶ 負債残高：24,554百万円（対前期増減額△4,357百万円）

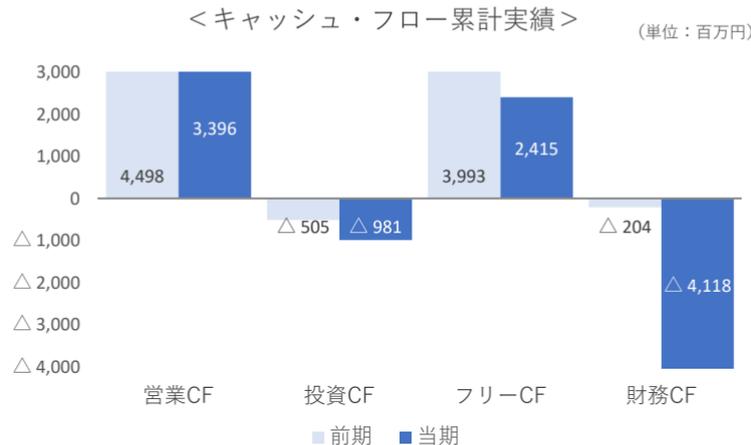
- ・有利子負債：対前期増減額 △3,887百万円
- ・未払金：対前期増減額 80百万円

▶ 純資産：9,738百万円（対前期増減額3,401百万円）

- ・利益剰余金：対前期増減額 3,376百万円

キャッシュ・フロー計算書（累計）

	2024年2月期	2023年2月期 /対前年同期増減額
営業活動による キャッシュ・フロー（営業CF）	3,396	4,498 △1,101
投資活動による キャッシュ・フロー（投資CF）	△981	△505 △476
フリー キャッシュ・フロー（フリーCF）	2,415	3,993 △1,577
財務活動による キャッシュ・フロー（財務CF）	△4,118	△204 △3,913
現金及び現金同等物に 係る換算差額	4	9 △5
現金及び現金同等物の 増加額	△1,698	3,797 △5,496
現金及び現金同等物の 期末残高	10,600	12,322 △1,721



【増減主要要因】

- ▶ **営業CF：獲得資金3,396百万円（前期:4,498百万円獲得）**
・税金等調整前当期純利益2,475百万円、減価償却費662百万円があったこと等によるものであります。
- ▶ **投資CF：使用資金981百万円（前期:505百万円使用）**
・有形固定資産の取得による支出758百万円があったこと等によるものであります。
- ▶ **財務CF：使用資金4,118百万円（前期:204百万円使用）**
・短期借入金の返済による支出3,003百万円、長期借入金の返済による支出852百万円あったこと等によるものであります。

コア事業

グループ連携による経営資源の効率化
グループ各社の資産・ノウハウの共有

飲食



Diamond Dining



連結中期経営計画の各重点施策項目を推進

グループ経営力の強化

グループの垣根を超えた業態変更

韓国大衆酒場ラッキー
ソウル渋谷文化村通り店



韓国大衆酒場
ラッキー★リウル
特引商標

出店チャンネル／エリアの拡充

ふわとろオムライス
EGG BOMB 浦和美園店



ふわとろオムライス



IPコンテンツのコラボ数増加

㈱ダイヤモンドダイニング
㈱エスエルディーの各店舗



- ✓コンテンツ数 ▶ 42案件
- ✓コラボ店舗数 ▶ 34店舗



24/7 café apartment 池袋



24/7CAFÉ APARTMENT
池袋店

Park South Sandwich
FUKUOKA



Park
South
Sandwich

GLANSIT
(カプセルホテル)



COMFORT CAPSULE HOTEL
GLANSIT

遊休資産再稼働/共創パートナーとの協業

コア事業

社内データ基盤の統合を推進 社内インフラシステム及び周辺機器の共通化

飲食



社内データ基盤の統合に向け複数のプロジェクトを立ち上げ

当社グループにおけるDX化の実現項目

実施済	着手済		
店内・本部ニーズへの取り組み	タブレットPOS導入 キャッシュレス決済 モバイル・QRオーダー導入 デリバリー対応	サプライチェーンの強化	受発注管理システム 物流拠点の追加等 需要予想・発注数の自動計算
	共通ポイント導入 各種優待券の電子化 自動釣銭機対応	業務システムのSaaS移行及び法対応	データ分析のSaaS移行 稟議システムのSaaS移行 レガシーシステムの廃止 会計システムの法対応
管理DBの構築	共通管理DBの構築 店舗検索システム構築 各種システムの連携		
人材開発プラットフォームの構築	人事労務システム 顔認証勤怠システム 人事評価/人材DBシステム 教育研修システム	本社（バックオフィス）機能の集約及び電子化※	経費精算業務の機能集約 請求書受領業務の機能集約 物流商品・価格改定業務の確認業務 庶務業務（登録業務）の簡素化

DX化ビジョンの実施内容

タブレットPOS及びQRオーダーの導入を完了（飲食）



- 期待する効果
- ① 複数メーカーのPOSを廃止。
1社に統合したことで、DB構築工数が削減
 - ② QRオーダー導入による店舗オペレーション及び人件費の効率化
 - ③ 機会損失の削減による客単価の上昇

【連結中期経営計画の進捗状況】 経営基盤及び財務基盤の改善について

・ 2024年2月期（連結中期経営計画初年度）の重点施策推進の結果、当初計画を上回り財務指標も改善



財務指標の改善と並行し、投資委員会、サステナビリティ推進委員会の設立によるガバナンス体制強化を推進



2024年2月期 出店状況

当社グループの出店状況：業態変更に加え今期は新規出店にも注力

当第4四半期連結会計期間：新規出店 1 店舗・退店店舗 3 店舗・業態変更 0 店舗

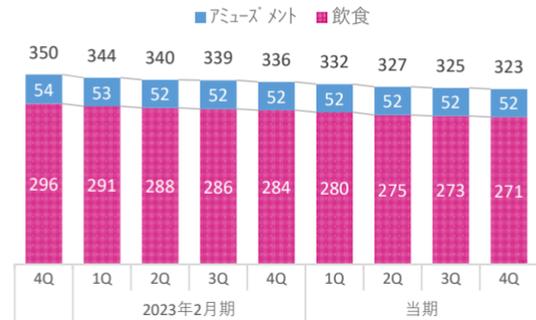
【グループ全店舗数（飲食・アミューズメント）】

飲食	271店舗
アミューズメント	52店舗
直営店舗合計	323店舗
ライセンス+運営受託店舗	9店舗
全店舗合計	332店舗

【グループ運営ホテル棟数（ホテル・不動産）】

ホテル	6棟
-----	----

【直営店舗数推移】



【直営店舗出退店実績（飲食・アミューズメント）】

期間	出店	退店	連結範囲の変更	直営店舗数	業態変更	
2020年2月期	1Q※1	12	7	53	486	0
	2Q	5	2	0	489	0
	3Q	7	4	0	492	5
	4Q	4	7	0	489	2
2021年2月期	1Q	3	12	0	480	0
	2Q	5	23	0	462	2
	3Q※2	0	9	△70	383	2
	4Q	1	10	0	374	0
2022年2月期	1Q	0	9	0	365	0
	2Q	1	7	△3	356	0
	3Q	0	0	0	356	0
	4Q	1	7	0	350	6
2023年2月期	1Q	0	6	0	344	0
	2Q	0	4	0	340	4
	3Q	1	2	0	339	1
	4Q	0	3	0	336	1
2024年2月期	1Q	1	5	0	332	2
	2Q	2	7	0	327	1
	3Q	2	4	0	325	0
	4Q	1	3	0	325	0

※1 株式会社エスエルディーの連結化に伴う店舗数増加であります。 ※2 株式会社ゼットンの連結範囲除外に伴う店舗数の減少であります。 14

コア事業

ダイヤモンドダイニングの原点である“熱狂”を真っ直ぐに表現
韓国料理の新業態の出店を継続！

飲食



「韓国大衆酒場 ラッキーソウル」を西新宿と渋谷にオープン



韓国大衆酒場

ラッキー★ソウル

럭키서울

“SOUL”（魂）× “食都・ソウル”（韓国の首都）

看板メニュー「チュクミサムギョプサル」（“チュクミ”とは韓国語で「イイダコ」のこと。）の他、多彩な料理とお酒をお値打ち価格でご提供する“美味しいラッキースポット”として、韓国への小旅行気分も味わえる使い勝手の良い酒場です。

< 韓国大衆酒場 ラッキーソウル 西新宿（東京都新宿区西新宿） >
※ 「MEAT&WINE WINEHALL GLAMOUR NEXT 新宿」からの業態変更

コア事業

出店チャネルの拡充により新たな顧客層へのアプローチ
業態初の商業施設フードコート内やブランド初の広島にオープン！

飲食



Diamond Dining

オムライス業態「EGG BOMB」を浦和美園と広島に2店舗オープン



<ふわとろオムライス EGG BOMB イオンモール浦和美園店（埼玉県さいたま市）>



浦和美園
2023年4月オープン

カスタムオムライス



広島
2023年5月オープン

“私だけのオムライス”

最大の特徴である「カスタムできる」という点に磨きをかけ、ソースアレンジのヴァリエーションを増やしアップデートした上、フードコートの特性を鑑み、ファーストフード的な使い方もしていただけるよう、トッピングメニューのフライドチキンホットスナックとして販売するなど、新たな試みにもチャレンジしています。

コア事業

エリア拡張となる福岡の新たなランドマークへの出店
福岡大名ガーデンシティ・ビオスクエア内に新規オープン！

飲食



「Park South Sandwich FUKUOKA」を2023年6月8日オープン



< Park South Sandwich FUKUOKA (福岡県福岡市中央区大名) >



 Park
South
Sandwich

**一杯の珈琲が人をつなぎ、
出合いを育む“HUB”となる空間**

公園のベンチを彷彿とさせる木材を使用したインテリアを配したモダンな店内のみならず、緑豊かな施設内広場でも瑞々しい具材をたっぷり挟んだサンドイッチやフレッシュな珈琲をお楽しみいただけるようTo GOスタイルの商品提供をしております。

美味しさを体験する喜びを明日への“活力”に
“美味”を徹底追求した新業態をリニューアルオープン！

「鴨ときどき馬 神保町本店」を2023年7月25日オープン



“健康活力美酒場”（けんこうかつりょくうまさかば）

看板食材は、低カロリーながら鉄分やビタミンなどの栄養成分を多く含む「鴨肉」と「馬肉」。鴨肉は、国産ブランド鴨である「京鴨」と「岩手鴨」を、馬肉は、一度食せば忘れられないと謳われる有限会社小田桐産業（青森県）の「あおもり馬選」をご用意しております。

<鴨ときどき馬 神保町本店（東京都千代田区神田神保町）>
※「九州熱中屋 神保町 LIVE」からの業態変更

コア事業

既存ブランドをエリア特性と多様な利用シーンに併せスピノフ
アクアシティお台場内に新規オープン！

飲食



「焼鳥トリフク食堂」を2023年9月15日オープン



< 焼鳥トリフク食堂（東京都港区台場） >



✦ 焼鳥トリフク食堂

多様な利用シーンにフィットするブランド開発

ビジネスや観光など多様なご利用シーンに対応すべく、昼の時間帯からお酒やご飯と共に居酒屋メニューをお楽しみいただける他、食堂として一日を通して定食メニューもお召し上がりいただけます。こだわり抜いた鶏料理をご堪能いただける居酒屋「鳥福」ブランドとしては、商業施設内初出店となります。

コア事業

ロケーションのよい空間でこだわりのメニューを
既存ブランドをブラッシュアップし新規オープン！

飲食



Diamond Dining

「24/7 café apartment 池袋」を2023年10月6日オープン



<24/7 café apartment 池袋（東京都豊島区南池袋）>



24/7CAFÉ APARTMENT
ナチュラルワインとひと手間はけたグリル

コンセプトは、“24hours/7days”
いつでも、誰とでも。

ゆっくりと自分の家でくつろげるような、白を基調とした居心地の良い空間はそのままに、既存3店舗(東京都・愛知県・大阪府)とはまた異なり、氷温熟成肉のグリルと産地直送の野菜、ナチュラルワインなど上質なお食事を気軽にお楽しみいただけるカフェ・レストランになります。

コア事業

「熱狂的な歓喜」を呼び起こす創造的であり革新的なブランド開発
展開領域の拡大のためのブランド価値の提案を強化

飲食



「WARAYAKI funsista」を2023年12月5日オープン



WARAYAKI
funsista

コンセプトは“Trad and Change”

店舗名の「funsista」とは「funky=（型にはまらない、独創的な）」と「fantasista=（ずば抜けた）」を掛け合わせた造語です。シンプルでありながら絶妙な火入れ加減など技を必要とする高知発祥の「藁焼き」と、従来の発想にとらわれない自由な表現を掛け合わせた「WARAYAKI」により新しい価値観をご提供いたします。

<WARAYAKI funsista（ワラヤキ ファンジスタ）（東京都品川区西五反田）>

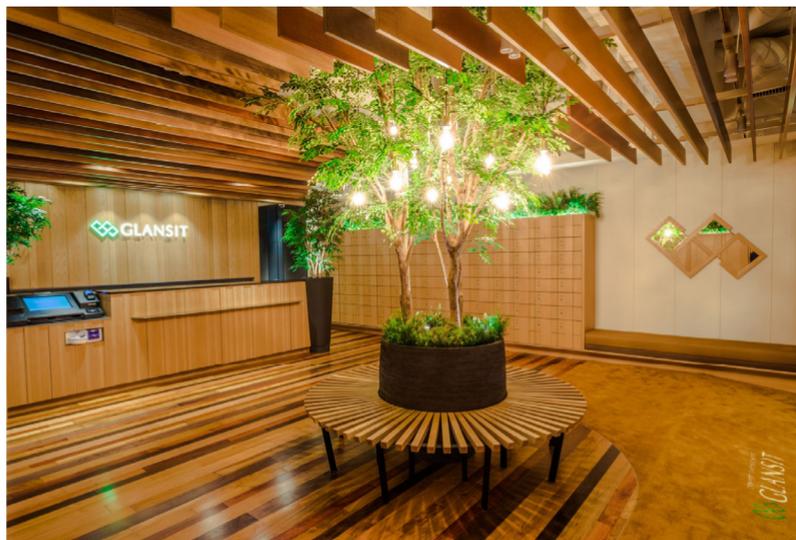
コア事業

アミューズメント

国内外の旅行需要の急速な回復に対応
新たなパートナーシップを結び、より進化したブランドへ



カプセルホテル「GLANSIT」2024年2月22日営業再開



COMFORT CAPSULE HOTEL
GLANSIT

株式会社ファーストキャビンHDとの業務提携

2020年4月より休業していたカプセルホテル「GLANSIT AKIHABARA」（東京・秋葉原）と「GLANSIT KYOTO KAWARAMACHI」（京都・河原町）をコンパクトホテルを全国に10施設展開する株式会社ファーストキャビンHD社とパートナーシップを結び営業再開いたしました。

コア事業

ビリヤード・ダーツ・カラオケ業態とインターネットカフェ業態ポイント共通化
ブランド間相互送客を強化しLTVの最大化を図る

アミューズメント



「BAGUS」公式アプリリニューアル



イベント情報やお得なキャンペーンも、もう逃さない。

BAGUS OFFICIAL APP

ダウンロードはこちら



バグース



初回限定
ダウンロード特典
割引クーポン
プレゼント



「遊ぶ・集う・寛ぐ」を網羅した『BAGUS公式アプリ』

「アミューズメント」or「インターネットカフェ」情報が選べるブランド選択機能を搭載し、会員登録をすることでどちらの業態でも使用することのできる共通ポイントを貯めることができます。BAGUSブランドの最新情報配信や、MAP検索による近隣店舗探しやクーポン配信によりお得に店舗をご利用いただけます。

新たなマーケット

ホテル・不動産



スパ・サウナから広がる集客

KAMAKURA HOTEL <ホテル>

期間限定「日帰り貸切サウナ」販売

今まで宿泊客限定であった貸切サウナを1月26日～2月29日の期間限定で日帰り販売。

サウナ好きの間で話題となり、期間内は連日の予約獲得となった。



KAMAKURA HOTEL

サウナ後のリラックスタイムに客室も日帰り利用可能とし、次のご宿泊につながることを目指した。

SHOTEL SHONAN FUJISAWA <ホテル>

冬のスパの楽しみ方「ウォーターヨガレッスン」

新たなるウェルネスエクスペリエンスの提案として、リラクゼーションプールでヨガの後は、サウナで心身を整える「水中ヨガレッスン」を1月14日～2月25日の期間限定で宿泊者を対象に開催。



HOTEL & SPA

湘南を拠点とするインフルエンサーでヨガトレーナーのmireiさんをインストラクターとして迎え、男女共有スパの利点を活かし、パートナーとも参加できるレッスンとなった。

A wide-angle photograph of a sunset over a calm ocean. The sun is low on the horizon, creating a bright reflection on the water. The sky is a mix of light blue and orange, with some scattered clouds. The text "Dynamic & Dramatic" is centered over the image, with "Dynamic" in red and "Dramatic" in blue.

Dynamic & *Dramatic*

2024年2月期 セグメント別概況

セグメント

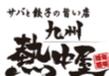
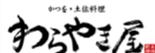
主なブランド

展開方針

飲食・アミューズメント事業

飲食
(273店舗)

売上構成比
75.2%



全国主要都市を中心に居酒屋・ダイニング・カフェなど様々な店舗を展開。
今期においては従前どおり既存ブランド*のブラッシュアップを行いながら、業容拡大並びに更なるポートフォリオ拡充のための業態開発に注力。
2024年2月末時点で国内271店舗を展開。
セグメント内には、ウェディング、FC・LC、ベンチャーキャピタルを含む。

アミューズメント
(52店舗)

売上構成比
18.5%

BAGUS



THE PUBLIC
Gastro Pub and Sports Bar



Hiroo Golf IMPACT

「BAGUS」ブランドにて高級感のあるビリヤード・ダーツ・カラオケ事業、インターネットカフェ事業の運営に加え、2018年よりカプセルホテル事業に参入。
厳選した立地のみ出店を行い、今後さらなる収益性向上を目指す。
2024年2月末時点で国内52店舗を展開。

不動産事業

ホテル・不動産
(ホテル6棟)

売上構成比
6.3%



KAMAKURA HOTEL



SLE 不動産
SHONAN LABEL ENTERTAINMENT

「湘南を世界のSHONANへ」というスローガンのもと、湘南の感性の高いビーチカルチャーをベースとした人々の暮らしにかかわる事業に注力。
神奈川県においてホテル運営事業6棟の他、飲食事業、貸テナ運営、賃貸事業、戸建て不動産販売事業等、複数の事業を展開。

新型コロナウイルスの影響が弱まり各セグメント黒字で着地

飲食

新型コロナウイルスの影響が弱まり、大幅な増収

▶ 外食需要の回復などにより、増収増益

増加	売上高	：	278.5億円	対前年同期比：	120.6%
増加	営業利益	：	28.6億円	対前期増減額：	28.4億円

アミューズ
メント

各種施策が奏功し、営業利益黒字を維持

▶ 新規イベントの開催や既存顧客満足度向上のため公式アプリをリニューアル

増加	売上高	：	68.6億円	対前年同期比：	107.9%
増加	営業利益	：	13.3億円	対前期増減額：	4.8億円

ホテル
・不動産

主に販売用不動産の売却が売上高及び営業利益に寄与

▶ 「PARK IN HOTEL ATSUGI」の一棟貸は計画通り第1四半期末(5月末)に合意解約

増加	売上高	：	23.4億円	対前年同期比：	84.7%
増加	営業利益	：	3.4億円	対前期増減額：	△5.0億円

おしゃれにカフェ・ガッツリお食事・お祝い行事 etc

あらゆるお客様のニーズに
お応えします！



多種多様な業態・エリアにて飲食店舗を運営

- ◆私たちは、大切なお客様の、大切な時間を、笑顔と感動でいっぱいになります
- ◆私たちは、変化に臆することなく、新しいライフスタイルに合わせた価値を創造します
- ◆私たちは、常に明るく前向きに、謙虚な気持ちをもって仲間と共に成長します



VAMPIRE CAFE（東京）



わらやき屋（東京）



kawara CAFE（東京）



鴨ときどき馬（東京）



chano-ma（東京）



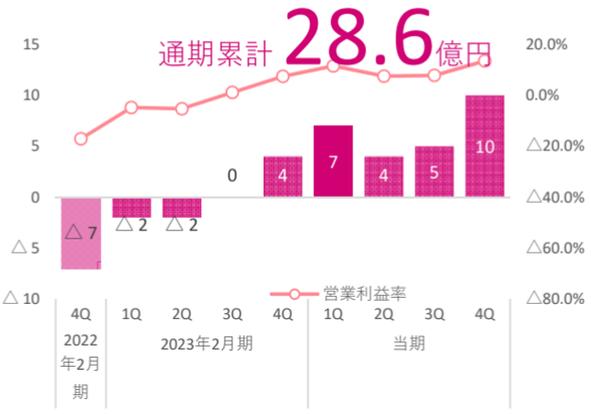
Park South Sandwich（広島）

セグメント：飲食（業績）

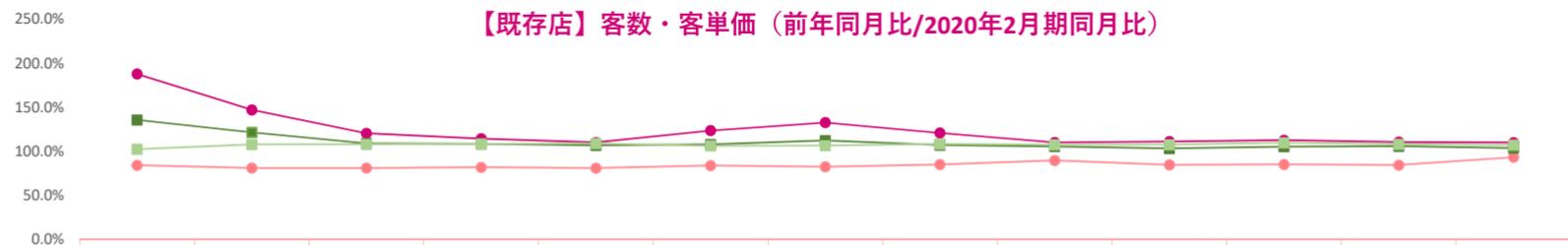
売上高
対前年同期比
120.6%



営業利益
対前期増減額
28.3 億円



【既存店】客数・客単価（前年同月比/2020年2月期同月比）



	2023.2月	2023.3月	2023.4月	2023.5月	2023.6月	2023.7月	2023.8月	2023.9月	2023.10月	2023.11月	2023.12月	2024.1月	2024.2月
● 客数前年比	187.7%	147.0%	120.4%	114.3%	110.1%	123.6%	132.6%	120.8%	110.1%	111.1%	112.6%	110.5%	109.9%
○ 客数20.2期比	84.2%	81.0%	81.0%	81.8%	80.9%	83.8%	82.4%	85.0%	89.6%	84.6%	85.1%	84.3%	93.3%
■ 客単価前年比	135.6%	121.5%	109.0%	108.3%	106.7%	107.8%	112.2%	107.0%	105.4%	103.2%	105.3%	105.7%	103.6%
□ 客単価20.2期比	102.4%	107.7%	107.9%	108.3%	108.9%	106.2%	106.4%	108.3%	107.4%	107.5%	109.7%	108.1%	107.1%



プロデュースするのは、
洗練された大人のエンターテイメント空間

BAGUS

（インドネシア語で「最高」の意）

プロデュースするのは、洗練された大人のエンターテインメント空間

私たちは世代を越えて幅広いターゲットに向けて、次々と新しい事業を展開してきました。

多様でありながら、全ての事業展開に一貫するのは、
ホスピタリティ精神とクオリティの高いサービスの提供です。

エンターテインメント空間演出のパイオニアとして、
私たちはお客様に「最高」の感動を追求し続けます。

<ブランド>

BAGUS

Bane BAGUS

GRAN CYBER CAFE *bagus*

BAGUS EXE
BAGUS OUALLA
BAGUS GOLKA

THE BAGUS PLACE

es

THE PUBLIC

under

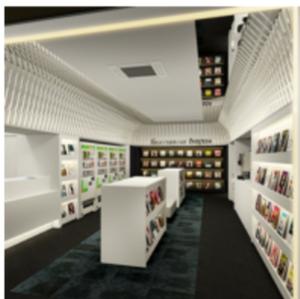
HG

Hiroo Golf IMPACT

COMFORT CAPSULE HOTEL
GLANSIT



BAGUS



GRAN CYBER CAFE *bagus*



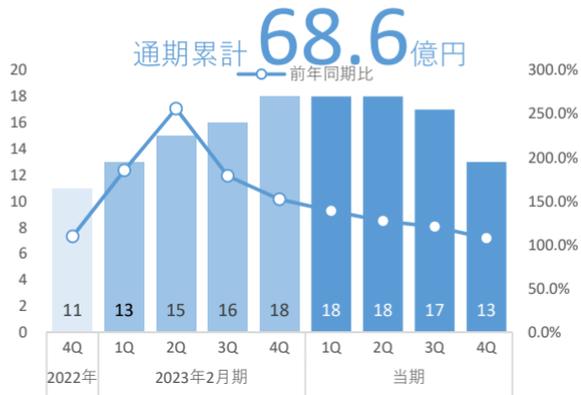
THE PUBLIC



Hiroo Golf IMPACT

売上高
対前年同期比

107.9
%

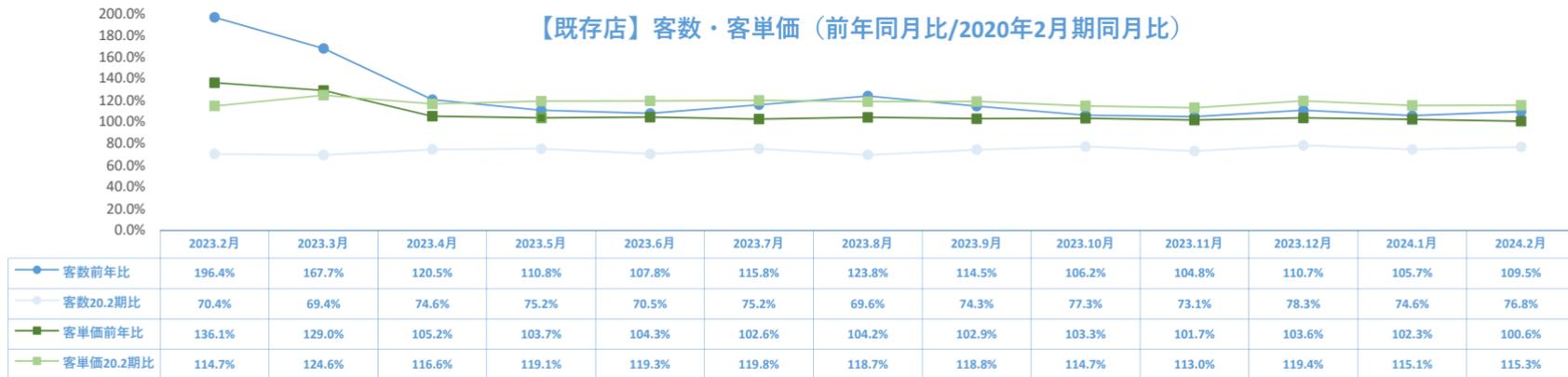


営業利益
対前期増減額

4.8
億円



【既存店】客数・客単価（前年同月比/2020年2月期同月比）



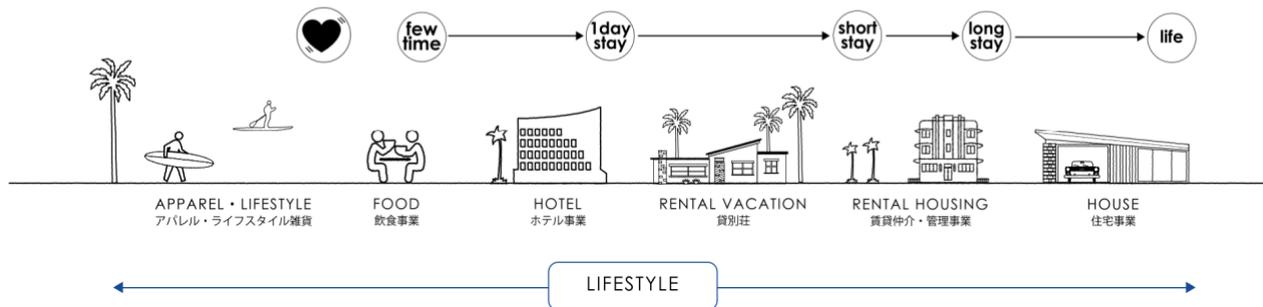
湘南を世界の**SHONAN**へ

- 湘南の感度の高いビーチカルチャーをベースとした人々の暮らしにかかわる事業に注力 -

Think Globally, Act Locally



WHAT WE DO



湘南のビーチカルチャーをベースとした感性が高く心地よい、暮らし全般にまつわる事業=ライフスタイルの提案を展開。

ホテル事業 < HOTEL >



KAMAKURA HOTEL
「SAUNACHELIEN 2021」受賞



8 HOTEL FUJISAWA
(神奈川県藤沢市)



8 HOTEL CHIGASAKI
(神奈川県茅ヶ崎市)

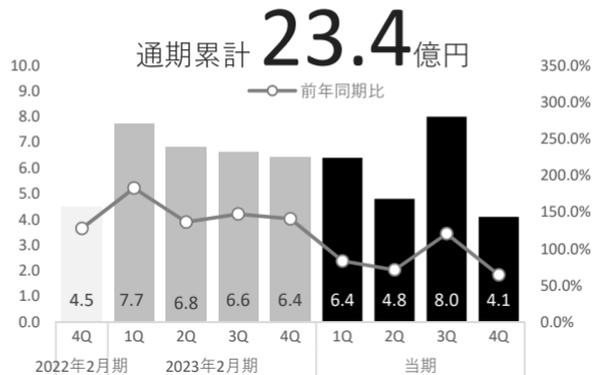
貸コンテナ < RENTAL CONTAINER >



ルームマートコンテナ
湘南エリア最大規模の屋外トランクルーム

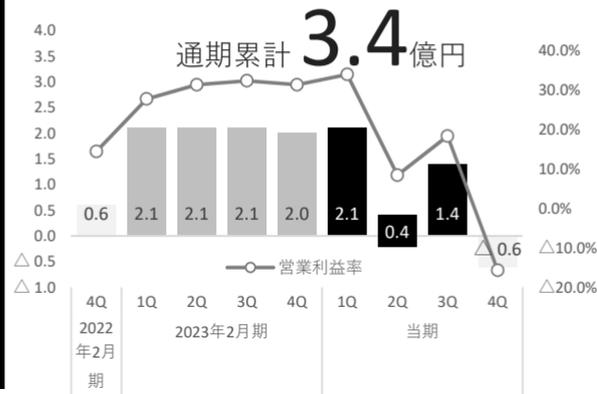
売上高
対前年同期比

84.7
%



営業利益
対前期増減額

△5.0
億円



通期対比 減収減益で着地

売上高:対前年同期比84.7%/営業利益:対前年同期比40.3%

新型コロナウイルス感染症軽症者の受け入れ施設として神奈川県へ一棟貸することで、逼迫する地域医療の負担軽減に努めることを目的に、「PARK IN HOTEL ATSUGI」を2021年2月期より神奈川県へ提供していましたが、2023年5月末（当第1四半期末）で当該契約が終了となり、**2024年3月中旬までのリニューアル期間は家賃コスト等のみが計上（当初予算に既に織込済）**

2024年3月15日リブランドオープン



< 3S HOTEL ATSUGI（神奈川県厚木市） >



2025年2月期 連結業績予想

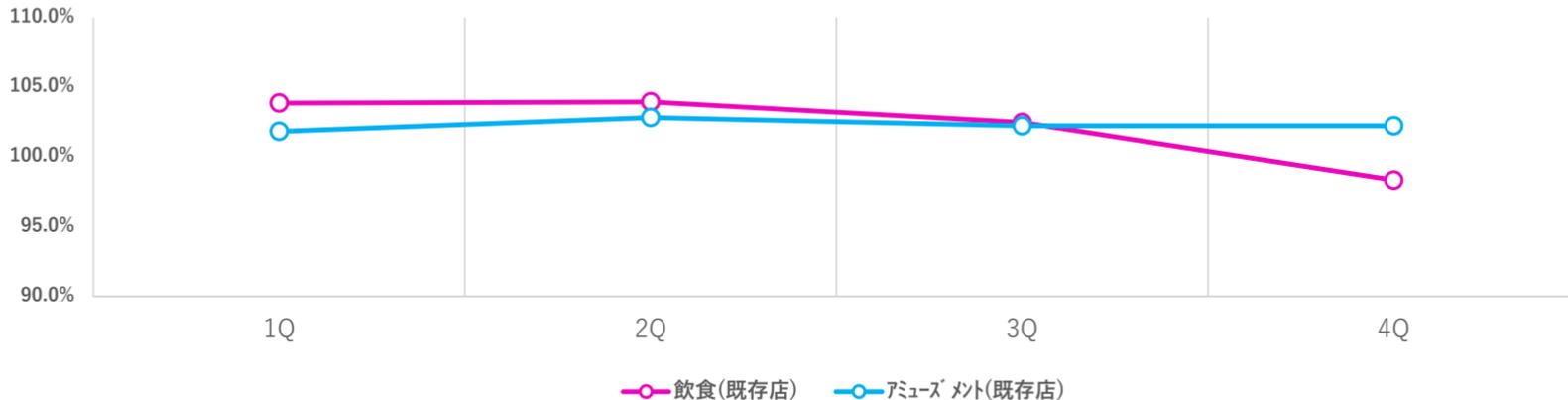
2年連続の増収増益を目論み、営業利益では35億円（過去最高益）を目論む

（単位：百万円）

		2025年2月期（計画）	2024年2月期（実績）	増減額	増減率
連結 第2四半期 （累計）	売上高	18,890	18,218	671	3.7%
	営業利益	1,540	1,671	△131	△7.9%
	経常利益	1,500	1,575	△75	△4.8%
	親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,440	1,421	18	1.3%
連結通期 （累計）	売上高	38,470	37,079	1,390	3.8%
	営業利益	3,500	3,243	256	7.9%
	経常利益	3,370	3,131	238	7.6%
	親会社株主に帰属する 当期純利益	2,480	3,415	△935	△27.4%

市況の回復状況と各種施策を実施することにより通期102.1%を目論む

四半期別_セグメント売上 FY25予算/FY24実績比較



【売上高】 飲食・アミューズメント

(単位：%)

FY25予算/FY24実績		FY25予算/FY24実績						通期
		1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	
既存店	飲食(既存店)	103.8	103.9	103.9	102.4	98.3	100.3	102.0
既存店	アミューズメント(既存店)	101.8	102.8	102.3	102.2	102.2	102.2	102.3
既存店	合計	103.3	103.6	103.5	102.4	99.3	100.7	102.1



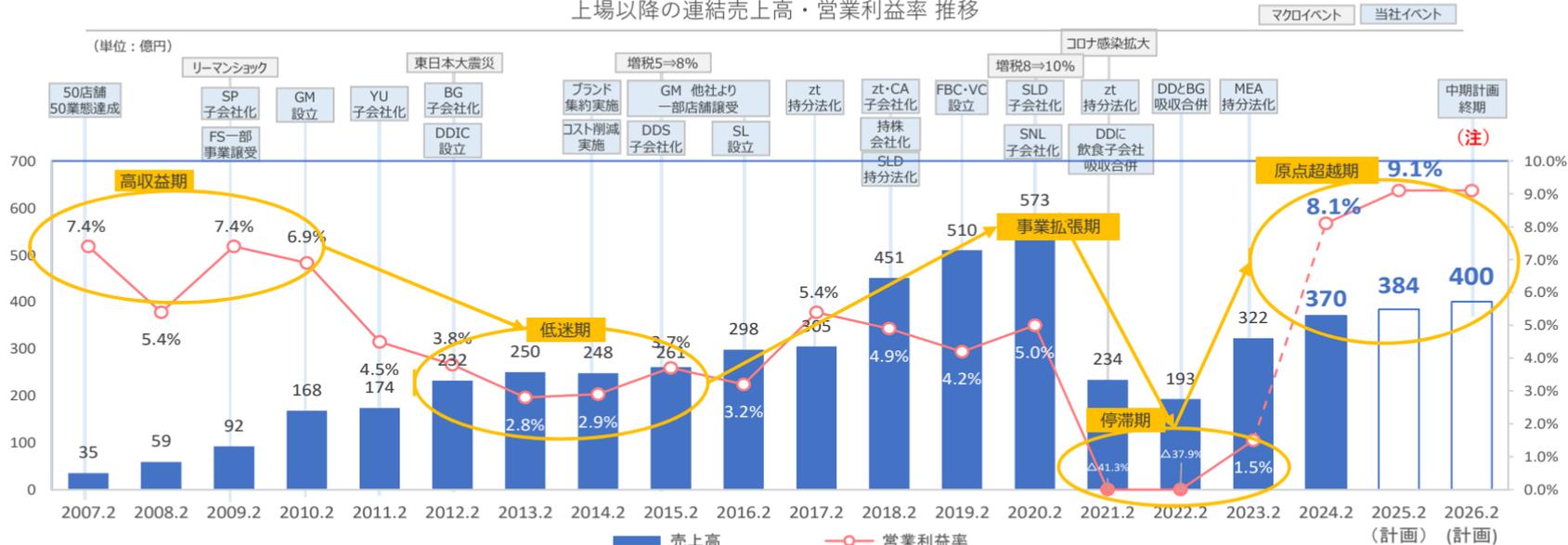
(ご参考)

(ご参考) 当社グループ業績推移

(注：中期計画終期(2026年2月期) 予想は当期通期業績進捗を踏まえ4月19日補正予定)



上場以降の連結売上高・営業利益率 推移



History

- | | |
|---|--|
| 2009年2月期 株式会社サンプル (SP) 子会社化
株式会社フードスコープ(FS) 一部事業譲受 | 2018年2月期 株式会社ゼットン (zt)・株式会社商業藝術 (CA) 子会社化 |
| 2010年2月期 株式会社ゴールデンマジック (GM) 設立 | 2019年2月期 株式会社フードビジネスキャスティング (FBC) 設立
株式会社DDホールディングスベンチャーキャピタル (VC) 設立 |
| 2011年2月期 株式会社吉田卯三郎商店 (YU) 子会社化 | 2020年2月期 株式会社エスエルディー (SLD)・株式会社湘南レーベル (SNL)子会社化 |
| 2012年2月期 株式会社バグース (BG) 子会社化
Diamond Dining International Corporation (DDIC) 設立 | 2021年2月期 株式会社ダイヤモンドダイニングを存続会社として4社(SP・GM・CA・SP・SL)を吸収合併 |
| 2015年2月期 Diamond Dining Singapore Pte.Ltd. (DDS) 子会社化 | 2022年2月期 DDICの全株式を譲渡し海外事業から撤退
株式会社ダイヤモンドダイニングを存続会社として株式会社バグースを吸収合併 |
| 2016年2月期 株式会社The Sailing (SL) 設立 | 2023年2月期 株式会社MEA (旧：フードビジネスキャスティング) の持分法化 |

新連結中期経営計画の財務・非財務目標 (※2026年2月期の計画は当期通期業績進捗を踏まえ修正予定)

・グループビジョンへの取組みと共にESG課題の取組みを通じ、社会的価値・経済的価値の向上と両立を図る

(単位：百万円)

		2023年2月期 (実績)	2026年2月期 (計画)	増減額/増減率
財務目標 (経済的価値)	売上高	32,235	40,000	7,764
	営業利益	467	2,800	2,332
	経常利益	838	2,700	1,861
	ROE	17.4%	20%	2.6point
非財務目標 (社会的価値)	女性管理職比率	24.2%	現状水準維持	—
	気候変動対応	・ CO2排出削減	【検討課題 2024年2月期まで】 ・ CO2排出削減方針の策定	—

新連結中期経営計画の強化項目

- ・「グループ経営力」の強化に向けた具体的なテーマと重点施策項目は以下のとおり
- ・「LTVの最大化」のため「ブランド（業態）」「チャンネル（エリア）」「ライフスタイル（ステージ）」等の拡充

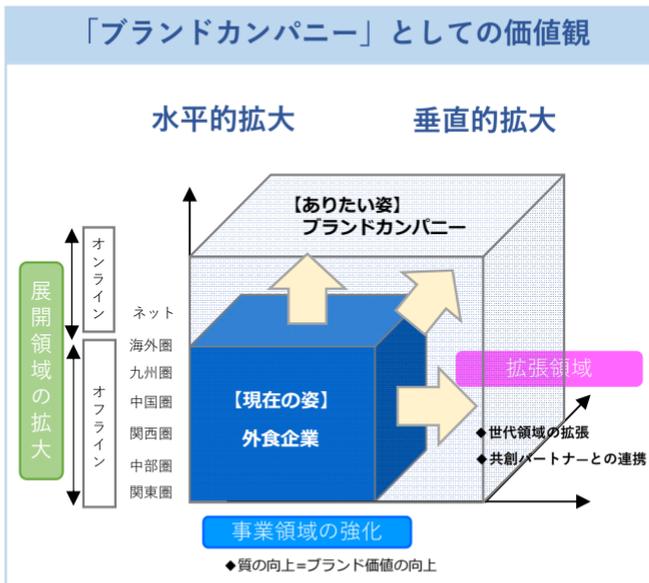
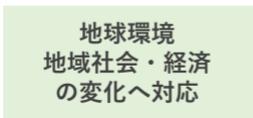
1 コア事業の強化	<ul style="list-style-type: none">● グループ連携による出店場所の確保● グループ経営力を活かしたブランドの創出強化● LTV（LIFE TIME VALUE）の最大化● ブランドポートフォリオの強化によるドミナント出店
2 展開チャンネルの拡張	<ul style="list-style-type: none">● SC（Shopping Center）、フードコートなどの新たな販売チャンネル開拓を行い展開エリアの拡充を実現● 地域創生を目的とした各自治体との連携強化● 新たなチャンネルに応じたブランド開発● EC事業による新たなチャンネル開拓
3 事業領域の拡大	<ul style="list-style-type: none">● M&Aを活用した新規事業領域の拡張● ホテル、不動産セグメントの販売商品の拡充● グループ連携によるIPコンテンツ事業の強化
4 財務基盤の強化	<ul style="list-style-type: none">● ROE 20%以上、有利子負債依存度50%まで低減● 営業利益 2.8 億円以上（2026年2月期）

新連結中期経営計画の価値創造の取組み

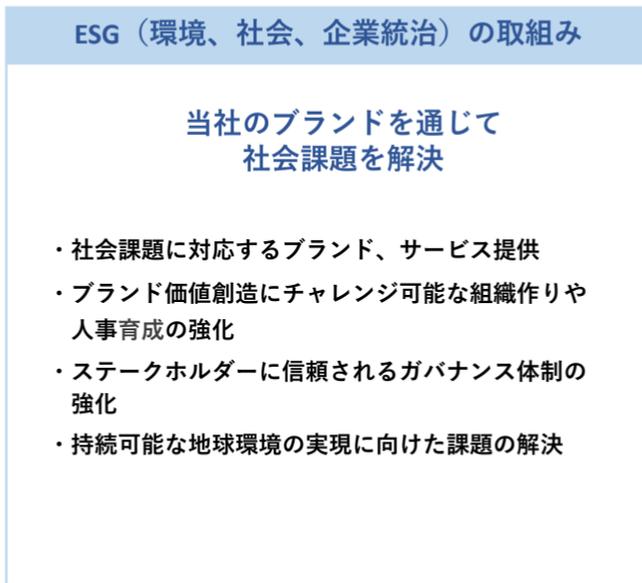
- ・ LTV (LIFE TIME VALUE) の最大化による「ブランドカンパニー」としての価値創出とともに、社会課題の解決に向けたESGの取組みを推進することで、企業価値を高め、「熱狂的な歓喜」を呼び起こす



+



×



ステークホルダーに対して「熱狂的な歓喜」を呼び起こす

本資料につきましては、株主・投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、
売買の勧誘を目的としたものではありません。

また、本資料における将来予想に関する記述につきましては、
目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。

将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上でご利用ください。
尚、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、
当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、株主・投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、
株主・投資家の皆様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、
当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

お問合せ先

グループ経営管理本部 経営企画部

T E L : 03-6858-6082

F A X : 03-6858-6083

E-mail : ddg_ir@dd-grp.com



DD GROUP

Dynamic & Dramatic

大胆かつ劇的に行動する